

CPhI Japan 2016

4月20～22日に開催

製薬業界に 特化した ITフェアを開催

ジャパンライフサイエンスウィーク 2016
CPhI Japan

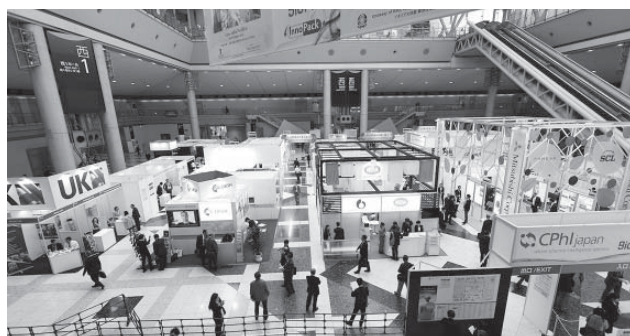
化学工業日報社、UBM ジャパンなどが主催する「国際医薬品原料・中間体展 (CPhI Japan 2016)」が4月20～22日、東京ビッグサイトで開かれる。同展を中心に機器・装置、バイオ医薬品などに関する5つの専門展が併催される製薬業界向け総合展であり、今回から、製薬業界に特化したITフェアとして、「ヘルスケアIT」を開催する。また、昨年から「ジャパンライフサイエンスウィーク」として、医療機器開発のための5展示会を同時開催しており、今年は同ウィーク期間中に計11の展示会合わせて5万人超の来場を見込んでいる。

ビジネスパートナー発掘の場

CPhI Japanは、2002年のスタート以来、「製薬業界受託サービスエキスポ (ICSE Japan)」「医薬品原料機器・装置展 (P-MEC Japan)」「バイオファーマージャパン (BioPh Japan)」「DDS・医薬品包装展 (InnoPack Japan)」が併催されるなど着実に規模を拡大している。

また、アジア最大の医療機器展である「MEDTEC Japan」との同時開催が今回で3回目となるが、今年は医薬品開発と医療機器開発に関する全ての展示会が東ホールで集中開催されるため、相乗効果が期待される。

初開催の「ヘルスケアIT」は、本格的なITフェアのニーズに対応したもので、創薬から開発、製造、流通、マーケティングの各分野の技術が紹介される。ITソリューション、サービスなど



CPhI Japan 2015の会場風景

を取り扱う企業50社の出展を予定している。

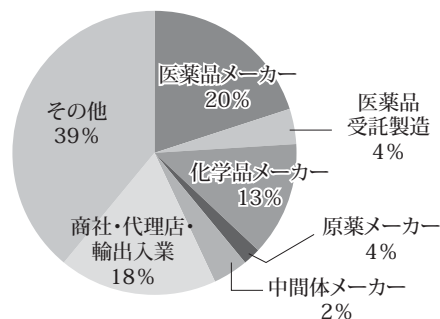
昨年は、27の国と地域からの出展があり、日本からは179社、海外からは288社が参加、年々海外からの参加者数が増加している。今年は、世界約30の国と地域から約500社の出展を見込んでいる。

また、来場者は製薬メーカーや医薬品受託製造業を中心に世界中から研究・開発部門などの担当者が多く訪れるが、メディカルやヘルスケア分野への事業戦略を強化している化学企業の来場者数が増えており、新たなビジネスパートナー発掘の場として活用されている。

また、CPhIの日本でのサテライト版として開催されたCPhI Japanだが、海外からの来場者は拡大傾向にある。現在、海外来場者の比率は約1割だが、約40%が医薬品や医薬品受託製造の従事者であり、アジアをはじめグローバルマーケット開拓の足掛かりになっている。

医薬業界で働く女性を応援

CPhI Japanでは、毎回、基調講演や出展社



業種別来場比率 (2015年)

CPHI Japan 2016の主なイベント

	講演テーマ等	講演者等	日/開始時間
基調講演	新薬の開発と承認審査について 革新的な医薬品・医療機器等の創出に向けて(第1部)	厚生労働省 山田 雅信氏	20/9:30~
	①革新的新薬の創出に向けて一企業の立場から	アステラス製薬 稲垣 治氏	22/9:30~
	②革新的医薬品・医療機器の創出に向けた研究開発の推進	日本医療研究開発機構 菱山 豊氏	22/9:50~
	③PMDAの今後の取組みについて 革新的な医薬品・医療機器等の創出に向けて(第2部)	医薬品医療機器総合機構 近藤 達也氏	22/10:10~
	パネルディスカッション	日本製薬工業協会 川原 章氏, アステラス製薬 新垣 治氏, 日本医療研究開発機構 菱山 豊氏, 医薬品医療機器総合機構 近藤 達也氏	22/11:00~
特別講演	FDAによる海外薬品監査とデータ安全性のノウハウを公開 外資系製薬産業が日本の患者・市場・経済に貢献し続けるために 革新的なバイオ医薬品の創出に向けて 医薬品産業への期待と政策展開 原薬国際調達フォーラム	EASコンサルティング Mr. Robert Fish 米国研究製薬工業協会 エイミー・ジャクソン氏 ノボルディスクファーマ 江島 伸一氏 経済産業省 西村 秀隆氏	20/11:00~ 20/13:00~ 20/15:00~ 21/9:30~
	ジェネリック医薬品市場シェア80%の時代に対応 するための原薬の安定供給と品質管理の在り方 (第1部) 開会の挨拶等	日本薬業貿易協会会長 角田 秀雄氏等	21/11:00~
	(第2部) 原薬, GMP, 安定供給の日本の規制 (アジア当事者によるパネルディスカッション)	中国医薬保健品輸出入協会, 韓国医薬品輸出入協会等	21/13:15~
	(第3部) 3つの地域から見た原薬の国際調達 (日米欧当事者によるパネルディスカッション)	APIC(欧州原薬委員会), 医薬品医療機器総合機構等	21/15:15~
	後発医薬品数量シェア80%時代に向けた 市場変化と新薬系GE企業が果たすべき役割	第一三共エスファ 義若 博人氏	22/13:30~
	外国製造業者に関する諸問題とその対応策	ファーマプランニング 高橋 和仁氏	22/15:30~
その他のイベント			
＜CPhIwomen＞発揮される女性力（グラクソ・スミスクライン 三村まりこ氏, 20/15:00~）			
＜カンファレンス＞再生医療等製品の開発経験と現状の課題（講演9件, 20/13:00~）			
＜DDS 新技術&新素材セミナー＞ファイアブラスト・バイアルの進歩（講演8件, 21/11:00~）			
＜バイオファーマセミナー＞DNA/RNAヘテロ核酸(HDO)の創生（講演17件, 20/10:30~）			
＜InnoPack Japanカンファレンス＞超高齢化社会に向けた、患者QOLの向上を目指して（講演16件, 20/10:30~）			
＜実践研修講座＞高分解能質量分析を用いたバイオ医薬品の特性解析とE&L分析（講座6件, 20/11:00~）			
＜プロセス化学セミナー＞品質は製造工程で決まる～プロセスケミストのための化学工学～（講座8件, 20/10:30~）			
＜JAIMAセミナー＞JAIMAの取り扱う分析機器（講演4件, 21/10:30~）			
＜海外グループプレゼンテーション＞英国（20/15:15~）、イタリア（20/11:45~）、スペイン（21/11:00~）			
＜インドセミナー＞（講演2件, 20/10:45~）			
＜ジャパンライフサイエンスウィーク特別セミナー＞10年先の世界の医薬品・医療機器産業を大胆予測！そして日本は？（講演7件, 20/10:30~）			

のプレゼンテーションのほか、プロセス化学や再生医療、製剤技術などに関するセミナーを開催しているが、今年は「革新的な医薬品・医療機器の創出」に焦点をあてた基調講演が予定されている。

革新的な医薬品開発のための承認審査体制の充実強化として、2015年から運用を開始した「先駆け審査指定制度」など国の取り組みを、厚生労働省の医薬・生活衛生局審査管理課の山田雅信氏が紹介する。

また、アステラス製薬の上席専任理事である

稲垣治氏、日本医療研究開発機構の執行役の菱山豊氏、医薬品医療機器総合機構の近藤達也理事長が産官学の立場から、革新的医薬品や医療機器の開発を進めるための産学官の幅広い連携協力などを講演する。

さらに、医薬業界で働く女性達のネットワークづくりを応援する「CPhI Women」の第2回目は、グラクソ・スミスクライン取締役の三村まり子氏を講師として迎える。発揮される女性力と題して、女性が医療業界で活躍していくための挑戦について講演する。